

スリップ事故発生マップ（北陸自動車道 研波JCT～石川県境 ほか）

■車両スリップ事故発生箇所

凡例	事故多発区間 (10件以上のスリップ事故があった区間)	事故注意区間 (相当数のスリップ事故があつて、注意を要する区間)
----	--------------------------------	-------------------------------------

特徴

北陸自動車道 小矢部川SA～小矢部IC及び白谷地区～石川県境（高窪トンネル）は、スリップ事故が多く注意を要する。

本マップのスリップ事故は、R2～R6の各年12月から翌年3月までの4か月間の5シーズンを対象期間とするもの。



■車両スリップ事故発生箇所

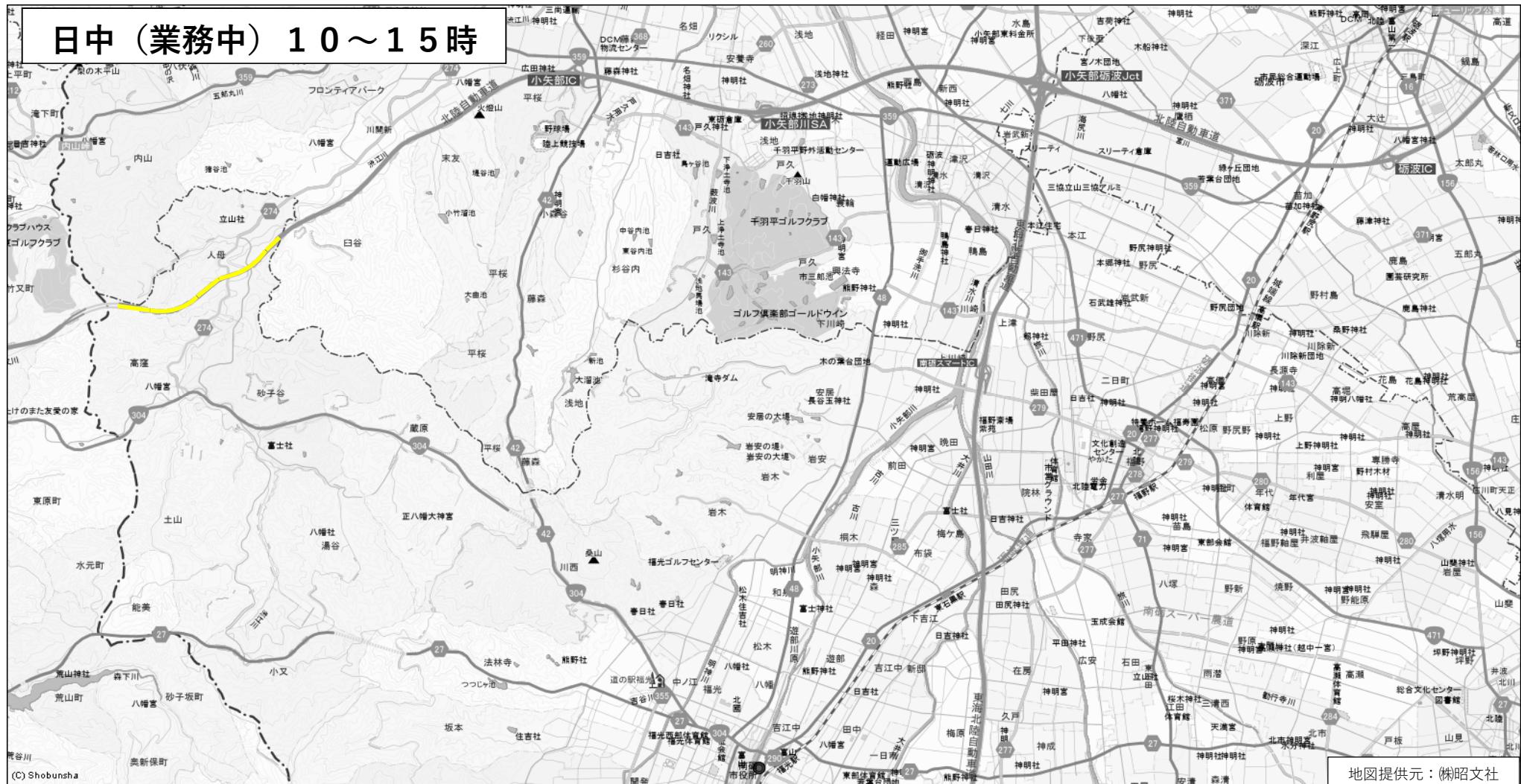
凡
例

事故多発区間	事故注意区間
(10件以上のスリップ事故があった区間)	(相当数のスリップ事故があって、注意を要する区間)

特徴

北陸自動車道 人母地区～石川県境（高窪トンネル）は、スリップ事故が多く注意を要する。

本マップのスリップ事故は、R2～R6の各年12月から翌年3月までの4か月間の5シーズンを対象期間とするもの。



■車両スリップ事故発生箇所

凡
例

事故多発区間

(10件以上のスリップ事故があった区間)

事故注意区間

(相当数のスリップ事故があって、注意を要する区間)

特徴

北陸自動車道 浅地地区（小矢部川SA東側）～小矢部IC及び臼谷地区～石川県境（高塗トンネル）並びに東海北陸自動車 田尻地区（スーパー農道上）～梅原（安丸）地区は、スリップ事故が多く注意を要する。

本マップのスリップ事故は、R2～R6の各年12月から翌年3月までの4か月間の5シーズンを対象期間とするもの。

